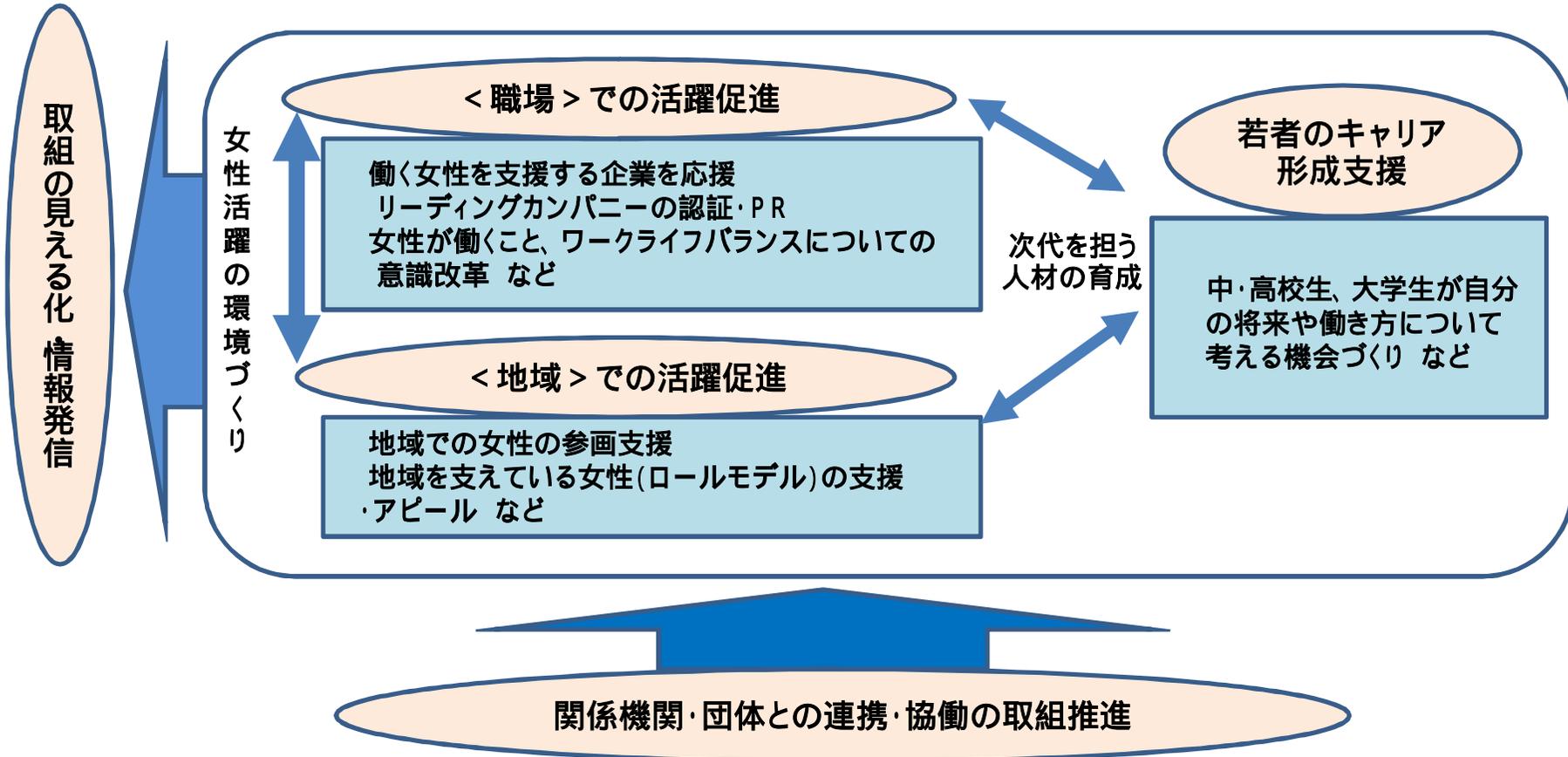


# 大阪市の女性活躍促進の取組について

資料3

平成26年11月 「大阪市女性の活躍促進アクションプラン」の策定・公表  
12月 市長を本部長とする「大阪市女性の活躍促進統括本部」の設置

平成26～28年度の3年間、市の重点施策として取組を実施し、女性が活躍できる都市大阪をめざす



# 大阪市女性の活躍促進アクションプラン 概要

## はじめに

### なぜ今、女性の活躍促進に取り組むのか

日本における女性の参画は徐々に増加しているものの、世界的に見れば、先進国では最低レベルとなっている。待機児童の解消、職場復帰・再就職の支援、女性役員、管理職の増加などに取り組むことで、少子高齢化による労働生産人口が減る中、女性の就労を促し経済成長を支えることが狙い。

### 大阪市が重点的に取り組むべきことは何か

#### キーワードは、「企業」と「地域」における女性の活躍に向けた環境整備

平成26年度から3年間、このアクションプランに基づき、取組みを進め、女性が活躍できる都市大阪をめざす。

## 何を目標に女性の活躍促進に取り組むのか

### 女性が働きつづけられるまち

女性が結婚や出産を機に離職することがなく、また、一旦離職しても再チャレンジが可能であり、男女がともに子育てや介護を担いながら、多様な生き方を選択でき、働きつづけられる。

### 活躍したい女性が希望をもてるまち

若者たちに、将来を考え可能性を広げられる機会があり、働く女性に、やりがいや充実感を得ながら働くとともにキャリアアップの機会があり、地域や職場で指導的地位をめざす女性が増える。

### 地域で女性がいいきと輝いているまち

地域社会のさまざまな場面で、女性ならではの視点が反映され、いいきと活躍できる。

## ライフステージに対応した総合的な女性の活躍促進施策を展開

- (1) キャリア形成支援～子どもたちに夢を与え、学生にロールモデルとの交流を！
- (2) 継続就業のための企業支援～働く女性を支援する企業を応援！
- (3) 子育て中の働く女性を支援～待機児童を解消し、病児・病後児保育事業を充実、小学生の放課後事業を推進！
- (4) 家事・育児・地域活動等に参画する男性を支援～イクメン・カジダン・イキメンの社会的評価をUP！
- (5) 再就職したい女性、起業やNPO等を立ち上げ、経営・運営する女性たちを支援～先達に学ぶ機会を！
- (6) 指導的地位をめざす女性を支援～経営層の意識改革と先輩後輩のネットワークで！
- (7) 地域を支えている女性を支援～活躍している女性をアピール！
- (8) 地域での女性の参画を支援～地域防災などの場で女性力の発揮を！

大阪市役所から始める女性がいいきと活躍できる職場づくり～まずは身近なところから！

## 推進体制～庁内体制および関係機関、団体等との連携

- ・平成25年7月に、副市長をトップとする全庁横断的な組織である女性の活躍促進プロジェクトチームを設置
- ・プロジェクトチームに特別顧問(3名)・特別参与(2名)、大阪市会の各会派議員も参画
- ・特定の課題について検討を行うために、幹事会にワーキンググループを設置
- ・今後は、プロジェクトチームを強化し、市長をトップとした全庁横断的な推進体制を設置
- ・計画の進捗管理及び検証・改善を行い、女性の活躍促進の取組みを全所属において推進

### 関係機関、団体等との連携

大阪労働局をはじめとする国や府の関係機関、大学等の教育機関、大阪商工会議所等の経済団体、女性の活躍を推進する企業・団体や子育て支援に携わる団体、その他さまざまな関係機関、地域団体、NPO等との連携・協力を進める。

## 大阪市の女性活躍促進の主な取組(今後の予定も含む)

### 若者のキャリア形成支援

中高校生に自らの将来について考えてもらうための授業、「体験型指導プログラム」を実施

平成26年度：プログラムを開発し、中学2校、高校2校で試行実施

27年度：中学6校、高校4校で実施(うち、平成27年10月5日、大阪ビジネスフロンティア高等学校で、特別講師 藤沢久美さんを招いて対話形式の公開講演会を実施)

大学生が自らライフデザインについて考える事業を実施

平成26年度：大阪女学院・短期大学、大阪経済法科大学、大阪府立大学で、女性の多様な働き方について考えるワークショップ等を自ら企画・実施

27年度：大阪経済法科大学で、男女ともに働きやすい環境づくりについて考えるワークショップ等を自ら企画・実施予定  
大阪国際文化大使 指揮者の西本智実さんによる特別講演と若者たちとのライフデザイントークを実施(平成26年12月)

### 働く女性を支援

「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」認証制度を開始(平成26年10月～)

平成27年10月1日現在：認証数102件

経営トップ層、女性の管理者層、女性のリーダー層の意識啓発に向けたフォーラム等を開催(平成27年1～3月)

「イクメンチェックシート」を作成・活用し男性への意識啓発を実施(平成27年11月～)

男性の働き方等についてのシンポジウム開催(平成28年3月)

大阪市男女いきいき財団の「営業女子力UPプロジェクト」への協力(平成27年10月～) など

### 地域における女性の活躍促進

地域活動への参加を呼びかけるワークショップ・交流会を実施(平成27年3月)

地域防災活動における女性参画の重要性について理解を深めていただくための啓発(地域出前セミナー等)を実施 など

### 女性活躍の「見える化」、情報発信

Facebook、Webサイト「きらめく女性の応援ひろば～未来へレディgo!」を開設(平成27年2月) など

### 関係機関、団体等との連携

「大阪女性きらめき応援会議(仮称)の設置」

関係する行政機関、経済団体、地域団体等の参画を得て、相互の連携・協働を進め、女性活躍の環境づくりをより効果的に推進するためのラウンドテーブルを設置予定

## 大阪市の女性への就労支援の主な取組(今後の予定も含む)

大阪の雇用・失業情勢は、平成26年の数値によると有効求人倍率は全国より高いが完全失業率は全国より高く、雇用のミスマッチが生じている

- 女性
  - ・ 就業率が全国と比べて低い
  - ・ M字カーブの落ち込みが全国と比べて深く、その後の回復も全国レベルに達していない
- 若者
  - ・ 非正規雇用者の女性の4人に1人が転職を希望しており、そのうち6割が正規就業を希望している(全国ペース)
  - ・ 完全失業率、非正規雇用率が高い
  - ・ 大企業志向、事務職志向が強く、求人ニーズのある中小企業とのミスマッチが生じている
  - ・ 大学を卒業する若者のうち4人に1人(約1万人)が正社員として就職していない
  - ・ 大卒就職者の3割が3年以内に離職(うち1年以内の離職者は7割)

**若者と女性が活躍できるよう、就労支援と雇用の促進に取り組む**

### 子育てのために離職した方など女性の就職活動の支援窓口

「しごと情報ひろば マザーズ」(大阪市此花区 クレオ大阪西1階)

- ・ 専門相談員によるキャリア相談や職業紹介、求職活動に役立つ保育情報の提供、さまざまなセミナーの開催
- ・ 仕事と子育てが両立しやすい求人情報の提供や、特に支援が必要な方に対して希望に沿った独自の求人開拓を実施
- ・ 紹介した企業で不採用となった場合でも引き続き支援
- ・ 保育士が常駐し、一時保育可能(要予約)

マザーズ以外でも、市内4ヶ所にある「しごと情報ひろば」においてハローワークコーナー併設による豊富な求人情報を活用した職業相談・職業紹介等を実施

天下茶屋、クレオ大阪西、西淀川、クレオ大阪南

### 女性の就労を支援する各種セミナー、企業説明会など

「企業と求職者のマッチングやインターンシップを活用した就職支援」

- ・ 求職者に事前ガイダンスを実施して就労への意識付けを行い、企業合同説明会の開催や企業での就業体験を実施
- ・ 合同説明会や就業体験の終了後は、安定就職(正社員又は1年以上の契約社員)に向けて継続的に支援

「一時保育付 子育て中のしごと応援セミナー & 交流会」(平成27年11月19日、26日、12月3日/イオンモール鶴見緑地)

- ・ 働く意欲はあるが子育てとの両立に不安を感じている女性を対象とするセミナーの開催
- ・ セミナー参加者同士の情報や悩みなどの共有やネットワークづくりにつながる交流会の開催